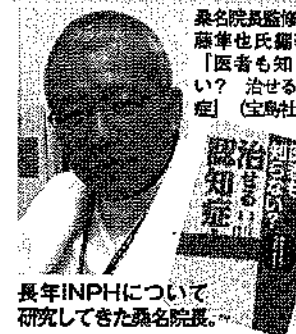


10人に1人が該当。費用 6万~7万円 で劇的回復

手術を受け、回復したおばあちゃんはどういう気持ちでいたか。「本当に不思議。だって考えられないでしょ。腰の手術をして認知症が治るなんて」。いま話題の手術で治せる認知症、iNPH。医師でもまだ知らない人がいるというこの病気。もしかして、あなたの周りの人も、劇的に回復するかも。



長年iNPHについて研究してきた桑名院長。

「実は認知症だったときの記憶は曖昧なんです。ただ、いつも失敗して、もうなんでもいいや...となげやりな気持ちだったことはよく覚えてるんですよ」
 神奈川県横須賀市の豊岡千枝子さん(79才)は笑顔を見せ、ハッキリとした口調でそう語る。千枝子さんは昨年5月に「認知症が治る」手術を受け、以前の自分を取り戻したという。
 「こののがきを見ると、ああ、自分は認知症だったんだな、と思うんです」
 そういつて取り出したのは1枚の年賀状。住所や郵便番号を書き換えずの表面に「あけましておめでとう」という言葉や挨拶文を書き連ねていた。「こんな間違いをしてたんだな...」と。後から息子に聞く

「とになります」(桑名院長)
 iNPH患者には主に次のような症状が見られるという。
 ①歩行障害 すり足で小刻みに歩く。歩き方が不安定。
 ②認知症症状 物忘れが多くなる。物事に対する興味や集中力がなくなる。
 ③尿失禁 トイレが近くなる。おしっこをがまんできる時間が短くなる。
 (右ページ下図、iNPHチェックリスト参照)
 これらの症状が見られた場合、認知症のなかでもiNPHの可能性が高いといわれる。「iNPHは古くから新しい病気です。病気のものが発見されたのは約45年前ですが、安全な治療法ができたのは十数年ほど前のこと。国内では'04年によく診療ガイドラ



いまは笑顔が絶えない千枝子さん。2年前には認知症を患い、年賀状を書き換えたこともあった。

と、物忘れだけではなく、洗った食器もまったく別の棚に戻したり、いわれたことをすぐ忘れていたりしていたそうです」
 千枝子さんの異変に長男の昇さん(53才)が気づいたのは2年前のことだった。しつかり者の母が急に物忘れが激しくなり、毎年100枚ほど書いていた年賀状のほとんどに書き間違えが見られるようになった。
 足取りもおぼつかなくなり、ある日、千枝子さんは出先の小さな段差で転んで、顔や手が血だらけに。昇さんは慌てて千枝子さんを病院に連れて行った。
 「母がどの認知症にあたるのか、どんな治療をしていけばいいのかそこ

インが発表されました。
 iNPHについての知識が広まるのと同時に患者数も増えています。これまで患者は認知症全体の5%といわれていましたが、いまでは10%は超えるといわれています。私たちがその可能性を知っていることが大切ですね」(桑名院長)
 iNPHかもしれないと思ったら、問診の際に医師に告げて検査してもらい必要がある(下図表参照)。
 iNPHの手術といっても、大手術を行うわけではなく、以前は頭の小さな穴を開ける方法が主流だったが、桑名院長が「L-Pシャント」という独自の手術法を開発。頭を傷付けることなく安全に手術できるようにした。

「腰の一部を1~2cm程度切開してシリコン製のチューブを差し込み、脳内にたまり

手術で治せる認知症があった

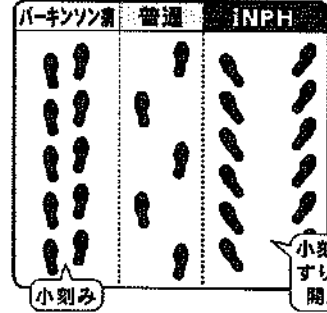
では判断がつかないため、専門医に相談したほうが良いというところで東京共済病院院長の桑名信匡医師を紹介されました」(昇さん)
 そこで初めて「手術で治せる認知症がある」ということを説明された。

「桑名先生からお母さんの病気が手術で治る可能性がある」といわれて驚きました。実際、手術を受けた2日後には歩き方も軽快になりました。物忘れも減って、表情も明るく以前の母に戻ったようです。この手術の存在を知って本当によかったです」(昇さん)
 * 国内の認知症患者者は現在、約220万人。高齢化に伴い、ここ10年、増加の一途をたどっている。
 実際、認知症のなかで最も患者が多いといわれるアルツハイマー型の場合、現代の医学では薬をのんで症状の進行を遅らせることしかでき

すぎた髄液をパイパスを通して腰椎からお腹に流します。流す髄液の量はバルブで調節、流された髄液は体内に自然に吸収されます。手術時間は1時間ほどで術後経過も見て10日後には退院できます。技術的にも、比較的やさしい手術です」(桑名院長)
 この手術は健康保険が効き、3割の自己負担で、手術料金は6万~7万円程度だといっている。iNPHの手術を受けた人のほとんどが翌日にはしっかりと歩けるようになるなど、症状に劇的な変化が見られるという。

冒頭の千枝子さんは手術1か月後に息子と一緒にスイスに海外旅行へ。アルパスを望むトレッキングコースを3時間かけて歩くほどに活動的

(iNPH患者の歩き方)



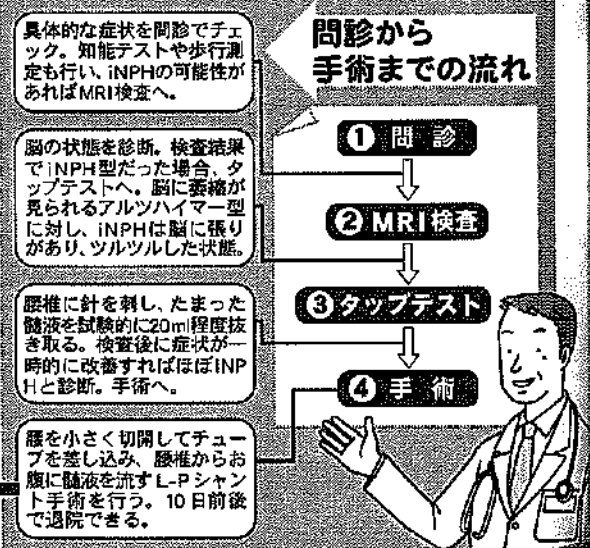
iNPH診断チェックリスト

- A (歩行障害)**
- 足が上げづらく、小刻みに少しずつ歩くように見える
 - 少しガニ股で不安定な歩き方をしている
 - つま先がやすくなったり、不意に転んでしまうことがある
 - 歩くときに第一歩が出ないことがある
 - 歩くことができない。または、立つと不安定である
- B (認知症症状)**
- 注意力、集中力を維持するのが難しい
 - 最近、事物が覚えづらい
 - 日頃習慣としていたことや趣味などをせせ、ぼっとなってしまう
- C (尿失禁)**
- 最近、トイレが非常に近い
 - トイレをがまんできる時間が短くなった
 - 尿をもらしてしまおうことが多くなった。または、常時尿失禁状態である

*A~Cのうち、いずれか1つの区分にチェックがはいっている場合
 INPHが原因と考えられる症状が出ています。今後、別の区分の症状が出てこないかどうか充分注意してください。念のため、専門医の検査を受けることをおすすめします。
 *A~Cのうち、2つ以上の区分にチェックがはいっている場合
 INPHを発症している可能性が強く疑われます。ただし、似た症状が出る別の病気の場合もありますので、専門医の検査を受けてください。

「認知症には実はいろいろな種類があるんです。10人に1人は、手術で治せる認知症の可能性があるといることが最近わかってきたのです」
 桑名院長がいう。手術で治せる認知症とは、「iNPH (特発性正常圧水頭症)」のこと。脳の周りや脊髄を流れる髄液がうまく循環せずに脳内にある脳室という空洞になっ

「認知症の疑いがある場合、通常は神経科や精神科などに通院します。しかし、iNPHであっても、アルツハイマー型認知症やパーキンソン病と診断されてしまうことも少なくないのです」
 iNPHと診断されれば、脳神経外科で手術を受けるこ



(L-Pシャント手術)



熊本泉の義和さんと高橋義和さん(84才)は、7月3日、iNPHと診断され、手術を受けました。
 義和さんは末娘の幸子さん(57才)と(仮名)と2人暮らし。毎日、丹精込めて植木を手入れし、散歩も欠かさなかった。義和さんが、その年の1月ごろから急に外に出なくなった。「電気もつけずに、テレビだけをつけて、ずっとつむい

「手術前に検査があるので、地図が読めなくて九州地方がわからなかったんです。でも、手術後の検査でははつきりと、ここが九州やと指をさすようになりました」(幸子さん)
 退院すると、義和さんはお